

平成24年7月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成24年度7月20日(金) 三好市教育委員会 会議室
開会 午後2時00分
閉会 午後3時30分

(2) 出席委員の氏名

委員長 小松 正 委員長職務代理者 岡本 佳代子
委員 森本 久美子
教育長 倉本 淳一

(3) 委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

◆出席職員

教育次長 田岡 啓子
学校教育課長 伊原 清幸 生涯学習課長 鈴木 良英
スポーツ健康課長 辺見 進一 学校教育課企画監 湊 政己
教育指導主事 喜多 雅文

◆傍聴人 0名

(4) 議事録署名者の指名

岡本 佳代子 委員

(5) 報告事項

①教育長等の報告要旨

(倉本教育長)

6月の行事について行事一覧表にそってご説明します。

6月28日、学校支援ボランティア運営協議会がありました。これは前回も紹介させていただいたので、省略させていただきますが、井川公民館へは田岡次長が、三野公民館へは私が参りました。一応、5つの中学校区に対して、学校支援ボランティアを立ち上げることができました。今後、どういう活動していくか、指導もしながら、注目をしていきたいと思います。

6月30日、細田雄一選手の壮行会が池田小学校の体育館でありました。委員各位にもご出席いただきましてありがとうございます。子ども達も出席をして、盛大に出来たの

ではないかと思えます。

7月5日、防災キャンプ打ち合わせ会を西祖谷中学校で行いました。これは、下の行事予定にも書いていますが、8月6日から8日まで、西祖谷中学校で、2泊3日の防災キャンプをする国の事業なのですが、県下2地域で受けましてその1つが三好市でございます。西祖谷中学校の先生方はもちろんですが、近辺の養護教諭の方とか、三好市の事務職員の方々も手伝ってくれるということで、他に危機管理室とか、その他いろいろな方の応援もありまして、いま準備を進めているところでございます。

7月6日、今年度の校長教頭審査受審者の書類提出締切日でした。岡田主査が提出に行きました。後で、受審者の名簿をお渡しします。

7月6日、エドバイザー会議をいたしました。1学期、各エドバイザーさんが訪問していただいて、いろいろな問題点とか、感想とか、我々の方からも市の教育委員会の学校訪問のいろいろな問題点等も合わせて出しながら協議をいたしました。同じ日に、三好教育振興協議会総会がありました。今まで、岡本委員さんがこの会の会長でした。お疲れ様でした。これは、エドバイザー会議と重なりましたので、田岡次長に出席をしていただきました。

7月11日、小・中学校校長会がありました。これは、いま委員長さんからお話がありましたとおり、いじめの問題で、徳島県から10日に通達がありました。いじめ問題はどこの学校でも起こりうる問題なので、十分に情報をつかみ、いじめ問題が起こらないようにしてほしいという内容で、それを受けた形になりました。校長会ではいじめの問題、それから我々が学校訪問に行った時の問題点、つまりオンリーワンスクール、ステップアップスクール、ナンバーワンスクールの確認をさせていただいたのと、特に中学校のICT教育の活用の問題等についての説明とか、指示とか、指導等を行ったところです。

続いて行事予定ですが、明日の21日、13時30分から保健センターで、学術・文化学会講座があります。今年は、5回を予定しておりまして、自然と歴史ということで、前半3回は自然、あとの2回は歴史ということで、去年に引き続き三好長慶について開催されます。明日は、徳島文理大学の橋本敏弘教授が、医食同源、おばあちゃんの知恵袋という演題で講演会をします。よろしければご出席くださいますようよろしくお願いいたします。

7月23日、臨時議会。内容については次長よりお話があると思えます。

7月31日、総合体育館で、青少年育成市民会議と市民大学講座を兼ねまして、笹野高史さんの講演会があります。楽しい話を聞けると思えます。

8月2日は、福島の子どもたちが、リフレッシュのため、徳島に来るとということで、榎生小学校を会場に交流をします。

8月5日、みよし水泳フェスティバルがあります。これは、去年まで四国学童水泳大会を開催いたしておりましたが、この大会がなくなりましたので、代わりに三好市の水泳連盟が主催し、水に親しみを持っていただき、水泳を好きになってもらおうという目的で行っています。また、ご案内が行くかもしれません。防災キャンプは先程説明した通りです。

8月7日、日韓中学生交流会を井川中学校で行います。8月の教育委員会は、コンプライアンス研修と兼ねまして、午前中に教育委員会を開きまして、午後からコンプライアンス研修に参加していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。これは日にちの変更が出来ませんので、よろしく願います。コンプライアンス研修は今のところ、阿波銀行から金融機関の危機管理について話をさせていただく予定になっております。一応、校長先生も一緒に受けます。また、教頭先生も参加希望であれば出ていただいて結構ですと言っております。教育委員会はここで開催しますが、他の研修会は人数の都合で、保健センターへ移動していただきますが、よろしく願います。以上です。

(小松委員長)

西祖谷中学校の起工式は、7月だったのですね。

(倉本教育長)

7月24日になります。西祖谷中学校の起工式は、西岡小学校の跡地で、西祖谷中学校の校舎建設が始まります。7月24日、起工式を行う予定ですが、委員長だけの出席を予定しております。

(小松委員長)

行事予定はこれでよろしいでしょうか。

(倉本教育長)

以上です。

(森本委員)

エドバイザー会議で特に印象に残った問題とかはないですか。

(喜多指導主事)

エドバイザーが訪問するについては、各学校もスタートした時に比べて、有効に活用しようという意識が先生に芽生えています。徐々にエドバイザーの意味が理解されてきます。そういった面では、前向きな取り組みが来ています。ICTに関しては、まだ、中学校の評価、いじめとか、学校訪問でも出ていましたが同じような意見を持っています。

(小松委員長)

日韓中学生交流というのは、どういうことをするのでしょうか。

(倉本教育長)

韓国の中学生が、初め80名くらい来るということで、バスで来るので、受け入れの場所の問題もあり、井川中学校に受けていただきました。先日、聞いたところによりますと、40名くらいになったと聞いております。中学生の交流を2時間くらいして欲しいと要請がありますが、やり方については学校におまかせし、県と相談しながらして欲しいと願っています。

(小松委員長)

誰が見学にいつでもよろしいのでしょうか。

(倉本教育長)

大丈夫です。学校の方にもそれは連絡を入れておきます。

(伊原課長)

そらの郷協議会が民泊、ホームステイ事業をすすめているのですが、今回は三野地区のホームステイ先の受け入れが多いと聞いております。三野、井川のどちらかの中学校で受け入れを考えてもらいたいという話だったので、井川中学校に受け入れをしていただきました。韓国から来られる方は、小学校高学年から高校年代までの方で、学校単位ではありません。スポーツ少年団のような団体構成です。スポーツには限りませんが、そういう団体が来られると聞いております。

(田岡次長)

井川中学校も子どもたちに、交流のためには多少、韓国語も知らなくてはいけないということで、1時間くらい特別授業を講師を呼んできてするみたいです。また、地域からもボランティアで参加したいという方もおいでるようです。

(岡本委員)

韓国から来られる方は、泊まるのですか。

(伊原課長)

そらの郷協議会の民泊先へ泊まります。ただ、今回のルートは、徳島に入り、三好市に入り、高知へ行き、香川行くという愛媛以外のところを訪問するので、かなり移動距離があります。最終的には大阪に入るようになっているので、その中で、学生同士の交流の場面ということで、三好市で受けるということです。

(6) 議題および議事の概要

【議題】

- ① 平成24年6月定例会議事録の承認について
- ② 西岡小学校の廃校、西岡幼稚園の廃園、西祖谷中学校の移転に係る三好市学校設置条例の一部改正について
- ③ その他

(小松委員長)

続いて、議題に移ります。まず、1番の平成24年6月定例会議事録の承認についてです。事前に送っていただいたと思いますが、指摘事項はありますか。

(岡本委員)

指摘事項はありません。

(小松委員長)

それでは、この議題については承認いただけますでしょうか。

(委員)

「承認」

(小松委員長)

ではこの議題については承認されました。

次に2番の西岡小学校の廃校、西岡幼稚園の廃園、西祖谷中学校の移転に係る三好市学校設置条例の一部改正についてです。事務局より説明をお願いします。

(伊原課長)

西祖谷中学校を西岡小学校に移転をして、工事を進めるのですが、学校の設置条例で、西岡小学校は今、休校という形になっております。これを廃校にする承認を教育委員会でお願いしたい。また、同じく西岡幼稚園の廃園も決めていただいてから、今度の臨時市議会で、条例案を提案させていただきます。臨時議会は、7月23日に予定されています。

内容は、行事一覧表の次のページになりますが、三好市学校設置条例の一部を改正する条例についてということで、現在は西岡小学校の名前が入っていますが、新しく右側の表で西岡小学校を消去する内容で条例が変更になります。また、同じく西祖谷中学校の位置の番地が現西岡小学校の西祖谷山村東西岡10番地に変更になります。次のページですが、同じように、幼稚園の設置条例の一部を改正する条例ということで、改正前の表の中に、吾橋幼稚園、西岡幼稚園と記載されていますが、右側のように、西岡幼稚園がなくなりまして、吾橋幼稚園という表記になります。西祖谷中学校の改築工事の請負契約については、月曜日の市議会で、市長より工事の請負契約の議決を求める議案が出るということです。

それから、資料の中に、西祖谷中学校の改築工事の内容をつけさせていただいております。工期や改築の規模、請負金額、工事内容についてなどの資料をつけさせていただいております。

今回の議題は西岡小学校の廃校、西岡幼稚園の廃園、西祖谷中学校の移転に伴う三好市学校設置条例の一部の改正を議題とさせていただいております。よろしくをお願いします。

(小松委員長)

どうでしょうか。廃校、廃園については承認でよろしいですね。

(委員)

「承認」

(小松委員長)

ではこの件については承認いただきました。改築工事の請負契約そのものは議会での問題だと思うので、工事内容についても何か意見があればお願いします。

新しい中学校になった時のレイアウトとかを見せていただきましたか。

(伊原課長)

はい。これまで協議をさせていただいて、入札も終わり、契約は議決案件ということで、市議会の議決がいるということで、手続き上の問題だけです。

(森本委員)

この前も東祖谷小・中学校の校舎を見せていただいた時に、音楽室の照明器具がデザイン的に考えられて、ホールのような感じで素晴らしいなと思いますが、ここまでしなくてもよかったのではないかと感じました。省エネと言いながら、子どもも少ないし、たしかに素晴らしいとは思いますが、学校であれだけの照明が必要なのかと感じます。

(湊企画監)

今回の西祖谷中学校は、いまの小学校と幼稚園の校舎の改修です。校舎部分が約870㎡、3階部分が、体育館になり550㎡です。基本的にこれを改修して、不足分を増築するというので、照明等につきましても、内容は既存校舎の老朽改修ということで、間取りの変更があったり、外壁の塗装であったり、あるいはエアコンの設置などの工事を行う予定ですが、照明自体は改修する計画はありません。

(倉本教育長)

照明はLEDですか。

(湊企画監)

LEDは使っておりません。LEDを使うとかなり単価は高くなります。学校の1教室だけでも、30、40%くらい上がるのではないのでしょうか。かなりの教室がありますので、1本何千円かの照明をつけるとなると、相当な金額になります。

(岡本委員)

全然使っていないのですか。例えば、どこかを使っているとか、順次変えていくとかはないのですか。電気代や維持費とかを考えると、コストからすれば、安くついたりするのではないのでしょうか。順次、LEDに変えていくとか、もう変更は出来ないと思いますが、こういう機会にしてもよかったのではないかと思います。辻小学校も使っていないのですか。

(湊企画監)

LED電球は使っていないと思います。

(小松委員長)

今度の西祖谷中学校では、新たに外壁塗装はやり直すとなっていますが、どうなのでしょう。

(湊企画監)

既存校舎が老朽化で、黒ずんでいますので、それについては再塗装となります。

(小松委員長)

どんな色なのでしょう。

(湊企画監)

こちらになります。右側の低い校舎が増築の部分になります。

(小松委員長)

前に見せてもらいましたね。

(田岡次長)

そうですね。一度見てもらっています。

(湊企画監)

色は2パターンがあるのですが、1枚目の色にしようと考えております。

(小松委員長)

元が小学校なので、窓が低いので腰の高さにするとか言っていないでしたか。

(湊企画監)

いまは、西岡小学校の高さですが、法律上の基準もありますので、それに適合した高さに設計されていると思います。

(岡本委員)

窓の高さは変更しないですね。

(教育長)

もし低ければ、手すりをつけるなどの対処法もある。

(湊企画監)

東祖谷の学校でもそうですが、教室には手すりをつけています。池田中学校も同じで、ろうか側に手すりをつけています。

(小松委員長)

空調設備は最初から入るようになっていますが、市内の学校全部、空調設備は整っているのですか。

(湊企画監)

中学校については、設置されている学校は、山城中学校、池田中学校、東祖谷中学校と今度設置する西祖谷中学校です。後、三野と井川ですが、今年度設計して、来年度着工できたらと思っております。

(小松委員長)

小学校の方はどうなのでしょう。

(湊企画監)

小学校の方はいまのところ計画はありません。

(岡本委員)

西岡小学校の校舎はまだ新しいので、耐震化の問題は大丈夫ですね。

(倉本教育長)

はい。大丈夫です。小学校の空調もまたここで論議する必要があるとは思いますが、今、空調化が進んでいるのですが、中には、小学校の空調はかえって子どもを弱くする。という説もあります。そのあたりはもう少し勉強しなくてははいけない。

(岡本委員)

街の真ん中でしたら、窓も開けられないという状況であれば、空調設備も必要だと思うが、ここは自然豊かなところなので、空調設備は必要なのか。今と昔では、気候が変わったと思うが、扇風機で耐えられると思います。

(倉本教育長)

なぜ空調設備が中学校にはついて小学校にはつかないのかと言いますと、いまのところ、三好市では、中学校は夏休み中の補習などがあり、進路指導の面から小学校と違う部分があります。とりあえず、中学校は他のところと同様にします。小学校については今から検討課題ということになります。

(岡本委員)

すごく暑い時は、夏休み入る前の2、3週間と9月の初めくらいだが、暑い時には、工夫して、昼から図書館で勉強するだとか、小学校の場合は、小回りがきくので、工夫することが大切だと思います。

(倉本教育長)

ご承知のように、昔は夏休みに入る時期は県の方で決まっていたが、今は市町村で決められる。また、市町村によっては学校で決められるように、条例を改正しているところもある。いま、教科書が増えたとかで、授業日数が不足する問題が起こっているのだから、学校によっては、夏休みも短縮して授業を行いたいという学校があれば、そういうところは積極的に空調設備をしていくというのも1つの案ですが、そういった事例はいまのところないので、どうかなと思います。ある程度、設置のための理由が欲しいと思います。ただ、暑いから、かわいそうだからではダメだと思います。

(岡本委員)

人間が体温調節する力が落ちていくのではないかと思います。暑い時は大変だが、工夫する必要がある。扇風機があるだけでちがうと思います。

(倉本教育長)

いま熱中症と騒がれているが、昔はなかったように思います。それは家庭で空調が完備されたためです。中学校が空調完備になれば、なぜ中学校にはあるのにとか、家にもあるのになぜ小学校にないのかという議論から、小学校も完備して欲しいという話になってくると思います。その時に教育委員会としてどうしていくかということは、きちっとした方針をだす必要がある。とりあえず、来年度中に中学校の空調は完備する予定です。

(小松委員長)

審議の分とは関係ないのですが、いまの既存の西祖谷中学校のグラウンド、校舎はどうなるのでしょうか。

(湊企画監)

校舎は西岡小学校へ西祖谷中学校が移るということで、いまの既存の校舎が、耐震性の低い不適格校舎ということで、補助対象になっています。そういった関係で補助金をもらいますので、完成した段階で、古い校舎については取り壊しになります。

(岡本委員)

何かに活用するわけにはいきませんよね。

(湊企画監)

4階建てのかなり耐震性の低い校舎なので、この耐震化を図るとなると、そうとうな金

額になります。

(岡本委員)

そうですね。

(小松委員長)

グラウンドはどうするのですか。

(湊企画監)

グラウンドはいまのところ計画ありません。いま教育財産ですが、今度、西岡小学校の方へ移転した場合には、普通財産になります。

(小松委員長)

教育委員会から離れるのですね。

(湊企画監)

離れます。

(倉本教育長)

地元からはゴルフセンターに出来ないかと要望がでていたのですが、どうかと思います。

それから、一段上がったところに寮があり、同じ高さのところに給食センターも使っていないのですが、この2つもどうするかという問題があるのですが、壊すことについては自前でしなくてはいけないので、慌てて壊すというよりも、一応置いといて、また何か活用出来れば、活用してはどうかと思います。一応校舎だけ取り壊すという形になります。そして、体育館と運動場は、社会教育施設として一般に使ってもらおう。

(小松委員長)

西岡小学校の運動場は狭いので、西祖谷中学校としてもクラブ活動など、西岡小学校の運動場が狭ければ使えるようにして、残しておいてもいいのではないかなと思います。とりあえず、一般開放して市民の活動に使っていただければいいのではないかなと思います。生徒が使っても優先的に使えるようにしておけばいいのではないのでしょうか。

(倉本教育長)

町民グラウンドみたいな形でいいのではないのでしょうか。なかなか実現はしないのですが、小学校にも中学校にも言っているのですが、運動会を一緒にはどうかと提案しています。一緒にした時に、小学校のグラウンドが狭ければ、中学校グラウンドを使えば、広々と出来ると思います。小・中学校混合で運動会をする時代になってきていると感じます。今度、東祖谷が一緒にしますので、またそれを見て、合同でやる場所が増えていくかもしれません。

(岡本委員)

混合でした方が盛大に出来ますね。

(小松委員長)

この件についてはどうでしょうか。よろしいですか。

(委員)

「承認」

(小松委員長)

この件については承認といたします。議題はすべて終了いたしました。その他で何かございませんでしょうか。

(倉本教育長)

今、いじめ問題は大きな問題となっておりますが、三好市といたしましては、1つ目は校長会を開催していじめの対策についての支援をしたということと、2つ目は、学期に1回、各学校でいじめの調査をお願いしているのですが、1学期の結果を提出するように指示をいたしました。3つ目は、お手元にありますいじめホットラインとして、子ども達にこのチラシを配布して、いじめを受けたり見た人はいつでも電話してくださいという体制をとりました。それから、まだ出来ていないのですが、このチラシは持って帰るとそれで終わる可能性もあるので、子ども達に名刺ぐらいの電話番号を書いたカードを夏休み中か2学期に配布して、定期入れとかお財布に入れておいていただいて、何かあった時に電話をかけていただくというような体制はどうかといま協議しています。

(小松委員長)

大津市の問題では、テレビでいろいろな方が、いろいろな話をされる時に、私がよく聞くのは、子ども達が親にも先生にもなかなか言わない。そのあたりを子ども向けだけではなく、先生方の見る目をより意識するといいますか、当然、校長会でもそのあたりを徹底されたと思いますが、子どもだけではなく、大人、先生に向けても何かつつこんでやっていく必要があるのではないかと思います。

(倉本教育長)

市の教育委員会の学校訪問の時に、喜多先生にもお話いただきましたが、市がお願いしている実態調査と県の方へ学校が報告している調査とのずれは、学校で十分に認識をして、細かい情報を見落とさないようにしてくださいというような話はさせていただきました。情報がないと、学校なり、先生なりが対策を講じられなくて、自殺に発展するようなことになります。

(岡本委員)

あの件については、マスコミ側も少しいきすぎた放送をしているなど感じます。日本人は、なにか事件があるとそこに集中して、事件を大きくしてしまう。元は小さい問題でも大きくしているのではと少し心配になります。重大なことで、問題にはしなければならぬことだとは思いますが、報道姿勢にも見直しが必要ではないかと思います。

(倉本教育長)

今回、トップに市の教育委員会の対応をものすごく取り上げていました。比較するように、教育委員のコメントをとったりしていますが、今までこういうことは一度もなかったように思います。

(森本委員)

先生方も管理能力、指導能力が低くみられるのを嫌うため、いじめの事実を認めたくないところもあるし、いじめのない学校ですということで、自分たちの評価をよくしようという気持ちがあるため、認めることが難しいのかなと思います。

(岡本委員)

私は、そういう風には思いません。他の町のことでですので、どういう中学生の雰囲気かはわかりませんが、きっとこの辺では考えられないことが、蔓延しているのではないかと思います。蔓延しているから、これは遊びの程度なので問題にしなくてもいいかなというような先生方の認識になっているのではないかと思います。

(倉本教育長)

難しいのは、例えば子ども同士のケンカがあつて、子どもから見れば、それはいじめられているということがあつて、先生が調べてみたら、いじめられる子の方が力が上であつて、それは対等なケンカだとみているわけですよ。そのあたりの判断がなかなか難しい。朝日新聞での小説が、つい10日前くらいに終わったのがまさにいじめの問題でした。特に、朝日新聞は今回の事件を大きく取り上げていた。その小説の中でも、子どもは真実を、警察にも親にも先生にも言わない。自分たちの世界があつて、その世界を守るために、なかなか言わないという小説ですが、よく調べているなと思いました。なかなか事実関係が学校の先生も掴めない。これがやはり、いじめに関しては事実だと思います。明らかに結果があつて、強い子が弱い子とケンカしていたとか、周りがそれに加勢していたとかになると、それは誰が見てもいじめですが、教育長か学校長かどちらでしたか、家庭の方も問題がありましてと、ちらつと言ったのですが、子どもにもいろいろ問題があつたという捉え方をして、いじめかいかいじめでないかというのは非常に微妙なところであつたのではないかなと思います。ただ、この少年は自殺をして亡くなったから、自殺の原因がいじめに関係しているというところが、非常に問題になっているのであつて、なかなか難しいことだと思いますし、マスコミが報じていることが、全てではない。出ていない部分が実際はいっぱいある。

(岡本委員)

そのように思います。やはり亡くなった人が弱者と被害者であり、被害者の肩を持つといいですか、そういう報道姿勢があるので、生徒から聞いた話っていうのもいじめられていたようなとか、それは亡くなった方の側に立った人であつて、もし、ちょっと問題があつたとしても言わないと思います。また、言ったとしても報道で書かないと思います。ですので、100%報道の表に出ているのが事実と捉えてはいけないと思います。報道の姿勢も少し、どうなのかなと思います。

(倉本教育長)

さっき言いました、新聞小説の中で、男の子からいじめられていた子が、お金もせびられていたりしているのですが、その子は裏では、女の子を蹴ったり叩いたりしている。い

じめられている子は女の子をいじめているわけです。たしかに、中学校の子どもの関係はそういう部分があるので、逆に被害者が加害者の立場であったりするわけです。ですので、すごく難しい。

(森本委員)

いじめなど何か問題があった場合は、どういう風に先生方は対処していくかなどのマニュアルはあるのですか。

(倉本教育長)

学校によっては、マニュアルを作っているところがあるかもしれませんが、指導というのは、マニュアル通りになりません。というのは個人差と言いますか、個別指導になりますので、子どもを呼んで、いじめることがいかに悪いかということを言ったり、全体の中でも指導したり、家庭へも連絡したりするなどの対応になってくるので、一応マニュアル的なものがあったにしても、なかなかその通りにはならないというのが現実だと思います。

(岡本委員)

また、子どものケンカにも許せるケンカと、ケンカでも許せないケンカがあります。ケンカと言っても、殴ると傷害事件です。また、お金を取るという行為は恐喝です。世の中で、犯罪行為ということ、たとえ遊びでしていると言っても、ダメというその姿勢が大事だと思います。いじめも一方的ではないにしても、ケンカにしても度を越えたケンカは許されません。

例えば、小学生であれば、相手に死ねとか暴言を吐いていたら、それはケンカでの言いあいであっても、絶対に許されない。大人が人権感覚を持っていないとはならない。もし、大人がすれば警察に捕まるということ、中学生だから、小学生だから、子どもだからと許されることはないということを教えることが、大事ではないかと思います。いじめかケンカか見分けることが出来なかったので、こういうことになった。暴力をふるうとか、首を絞めるとか、仮に遊びであっても、ふざけあいでも、そういうことをしてはいけないということを強く教えることが大切であり必要だなと思います。

私が昔、勤めた学校で、小学生ですが自由に振舞う集団がいました。ある日、休み時間にある子どもに紐をかけて、ベランダにくくっているって言うのです。そんな、犬みたいなことをされて、その子の親が見た時にどれだけ辛いのか。それは、ふざけてやったかもしれませんが、そんなことは許されない。そういうことを問題にしない先生や、おもしろいことをしているなど一緒に笑ったりというような感覚の先生も中にはいると思います。すべては人権意識と言いますか、遊びであっても、そんな質の悪い遊びやふざけはいけないと思います。いじめられている子どもを傷つけることは限度があると思います。

(倉本教育長)

学校は、加害者も被害者も指導して立ち直らせたいたいという気持ちがある。法的に少年院とか警察にとかはあまりやりたくないというのが本音です。そこが、先程言われたように、何でも隠すと誤解されてしまう要因の1つだと思う。学校がボロを出さないように、いい

格好しているのではないかとと言われるところがあるかもしれませんが、加害者が今、岡本委員が言われたように、大人と違うところは、子どもがこの先どうなるのかとか、罪の重さを知らずにいたずらのようにしている。例えば、今回のように何千万円の補償とかいう問題が出てくる。そんなことになるとは、子どもは絶対に思っていない。自分がやったことがいかに罪深いことかを指導しながらそういうことを繰り返さないように、指導しなければならない。先生の仕事なので、単に法律では割り切れない。そこのところが、両方とも指導しなければならないというのが学校の立場です。

(小松委員長)

行事予定でコンプライアンスのことが来月入っていますね。コンプライアンスも本来であれば、当たり前なことだが、常にしていなければ、簡単な飲酒運転とかセクハラとか、考えられないことが、何人かの先生には、そういうことが起こってくる。今、言ったことは、たぶん岡本委員なんかはそんなことは別にわざわざ勉強しなくて自分でわかっているとそういうことで言われたと思うのですが、やはり、中にはそれがなかなか出来ない先生がいたら、コンプライアンスと同じように、こういったことも研修なりで、いろいろな事例を先生にだしてもらって、いままで以上に注意してやってもらうとそういう制度などを県の教育委員会などと一緒にやっていくようにしないと難しい。

(岡本委員)

学校には、人権教育とか、道徳などがあると思いますが、常に繰り返し、問題にし、話題にして意識も高まると、人権意識、道徳意識は高まると思います。去年やったから今年はしないという問題ではなく、毎回それが日常的に学校の雰囲気にならなくてはいけない。小さい問題でも、日常の話題になるようにしておかなければ、見抜く力は養われない。研修したから、本を読んだからとかではなくて、心に貯まっていくものなので、職員室や日常の会話の中に人権問題というものが定着するようにしていくことだと思います。

(倉本教育長)

学校評価をしていますよね。教育委員会も評価をしています。学校の運営とかで、学校評価、学校評議員制度などで常にチェックをしていく。日常生活の中で、子どもたちの様子をチェックしながら、繰り返し大事なことは常に抑える。特に命に関わることは一番大事なことだと思います。人権に関わることは、学校で常に意識する。先生が意識する、組織で意識するような雰囲気を作っていくことが一番重要だと思います。

(岡本委員)

人権や安全に関することは日常的に問題にならなくてはいけないと思います。例えば、学校のベランダに手すりがありますよね。子どもってそういうところに上がってみたい。下の面から言えば、手すりの高さは十分ですが、その台の上にあがって身を乗り出せば危険な高さです。高いところに子どもは平気なのですが、上がったから危ないから言わなければと思う先生と、そんなことは問題にしないという先生とでは問題があると思います。その時は危ない、危なくないと思う人がいるが、あんな行為は危ないなとみんな話題にし

て共有することが、大切です。自分の学級だけでなく、他のクラスにも目を配らせることが大切だと思います。

(小松委員長)

この件については、どれだけ話をしてもつきないと思いますが、いろいろな機会に話合
って、教育委員会もそういう目を持っていかなくてはいけない。万が一の時の危機管理は、
今回の事件でも危機管理の問題が批判されて問題になっていましたが、我々もそういう事
態になった時に、教育委員会側として、適切な対応が出来るかどうかが重要になってくる
と思います。

また、継続的に、こういうことについては論議をしていったらいいと思います。

では次の学校管理職任用受審者の件については、秘密会とします。

(小松委員長)

以上で秘密会は解きます。他に何かございましたら、お願いします。

(辺見課長)

行事一覧表をご覧ください。蔦文也杯が8月22日、23日、25日に開催されます。
24日は予備日です。また、アイランドリーグのインディゴソックスの試合が、8月26
日の日曜日にイタノ総合グラウンドで開催されます。

(小松委員長)

よろしいでしょうか。

(田岡次長)

人事の件ですが、文化の振興で7月1日に、異動がありました。生涯学習課から2名文
化交流推進課の方へ異動となりましたことを報告させていただきます。

(小松委員長)

今回は以上になります。お疲れ様でした。

以上